

# News Letter VOL.05



発行/2023年9月29日 発行者/山形県総合交通政策課

<https://www.pref.yamagata.jp/020056/kurashi/kendo/kotsuseisaku/newsletter.html> (山形県ホームページ)

## はこビュンで輸送した旬の県産農産物が大好評！

ー 県内各地でイベント、県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟促進大会開催ー

### さくらんぼ、すいかのほか 朝採れだだちゃ豆を初輸送

令和5年6月16日、23日と2週にわたり、旬を迎えた県産さくらんぼの新幹線輸送を行いました。JA全農山形、JR東日本東北本部の御協力のもと、16日には「佐藤錦」を、23日には「紅秀峰」と今年本格デビューの「やまがた紅王」を、山形駅から山形新幹線つばさで輸送し、東京駅構内のNewDaysで販売。店舗スタッフも驚く売れ行きで、両日とも3～4時間で完売となりました。

7月28日には、尾花沢すいかを新庄駅からつばさで輸送。高輪ゲートウェイ駅で開催されたイベントで、夏すいか日本一の山形県のPRとともに、しっかりと冷えた尾花沢すいかを多くのお客様に味わっていただきました。

はこビュンでの荷物輸送は山形新幹線だけにとどまりません。8月25日には、朝収穫されたばかりの鶴岡市特産のだだちゃ豆を、鶴岡駅から特急いなほ、上越新幹線で東京まで輸送し、銀座の山形県アンテナショップ「おいしい山形プラザ」で販売。事前告知を見たお客様が販売開始前から列を作り、25kgのだだちゃ豆が8分で完売となりました。

今後も、新鮮な県産農産物等の鉄道輸送の取組を進めていきます。



佐藤錦販売



紅秀峰・やまがた紅王販売



尾花沢すいか輸送



だだちゃ豆販売

### フラワー長井線100周年等 各地でイベント開催！

フラワー長井線は、令和5年4月22日に全線開通100周年を迎え、当日は、始発終着駅の荒砥駅と赤湯駅で記念イベントが開催されたほか、沿線の花々をあしらったラッピング列車が初めて4両連結で運行され、多くの方が100周年をお祝いしました。また、5月14日には、臨時列車とランナーがリレー形式で競争する「フラワー長井線と競走しよう！」が行われ、出場全チームがフラワー長井線に勝利しました。記念イベントの様子を盛り込んだフラワー長井線のPR動画をYouTubeで公開していますので、ぜひご覧ください。

また、左沢線では4月22日と23日に、運行しているキハ101系車両にちなんで、全線開通101周年記念イベントが開催されました。沿線グルメブース、マルシェに多くの方が集まり、23日には記念セレモニーが盛大に催されました。



フラワー長井線100周年イベントの様子  
YouTubeで公開中！



左沢線101周年イベントの様子

### 県奥羽・羽越新幹線整備 実現同盟促進大会開催

令和5年9月12日、山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟(会長：吉村知事)は、パレスグランデール(山形市)で令和5年度促進大会を開催しました。

開会にあたり、会長の吉村知事は、「山形県の未来を拓く希望のトンネルである『米沢トンネル(仮称)』と奥羽・羽越両新幹線の早期実現に向けて、引き続き、各地域や業界等における運動の旗振り役として、本同盟の取組を推し進めていただきたい。」とあいさつしました。

その後、副会長である森田県議会議長から決議案の提案がなされ、満場一致で採択されました。今後、政府やJR東日本への要望活動も実施していく予定です。

第2部では、大阪産業大学教授の波床正敏氏から「山形新幹線 新トンネルをどう活かすかートンネルは奥羽新幹線の実質的着手ー」と題した御講演をいただきました。



会長あいさつ



大会決議案の提案

## 米沢トンネル(仮称)のロゴマークができました

令和5年9月12日、県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟促進大会において、米沢トンネル(仮称)整備の動きをさらに加速させていくための新たなロゴマークが披露されました。米沢トンネル(仮称)が山形と県外を結ぶ新時代の懸け橋になることを虹で表現しており、今後の米沢トンネル(仮称)整備に向けた普及啓発等に活用していく予定です。



新ロゴマーク